

第6回 能美市タウンミーティング

平成29年7月3日（月）19：30～21：00

和佐谷町公民館

【司会】

皆様、こんばんは。ただいまから和佐谷町様とのタウンミーティングを始めさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

まず初めに、ご参加の皆様を代表して、副町会長様にご挨拶をいただきたいと思います。

【和佐谷町副町会長】

和佐谷町でタウンミーティングを行われるのは初めてでございます。このような機会を設けていただきました関係各位に心より感謝申し上げます。

また、本日は大変お忙しい中、市長様にはわざわざお越しいただき、ありがとうございます。

和佐谷町、30軒ほどの小さな町ですけれども、いろいろな課題を持っております。町会の役員初め町民ともども力を合わせて今いろんな課題に取り組んでいる次第でございます。きょうのこの機会が、能美市にとってはもちろんそうでございますけれども、和佐谷にとって実りのある会となりますよう、またよろしくお願いいたします。

【司会】

ありがとうございます。では、次に、井出市長がご挨拶を申し上げます。

【井出市長】

きょうは、月曜日の週初めといういろいろとご用事があつた日にも関わらず、大勢の皆様にお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。

最初に、このタウンミーティングをなぜ開催しているのか、そして、能美市の魅力ということには何があるかということをおのほうから皆様方にご紹介をしたいと思います。

タウンミーティングと英語で書いてありますけれども、意見交換のことでございまして、私の政治信条であります現地現場主義、市民ファースト、市民第一だということを進めていくための礎として開催させていただくということです。

能美市の最大の課題は人口減少問題ということでございまして、これは能美市に限った

ことではありません。日本全国この人口減少問題が最も大きな課題だと言われています。能美市の人口も昨年の10月に5万人を超えましたが、実は、7月1日現在は4万9,000人台であり、少し減っております。2040年には4万8,800人を目指します。そして、人口が減るだけではなくて、高齢化率は現在約25%ですが、2040年には32%になってくるだろうという事で、これも日本全体の課題です。

その能美市の10年後に向けて魅力を発掘、発信していくことで何とか今の能美市の規模を維持し、さらには発展させていけないかということで、このようにいろんなことを考えているわけでありまして。具体的には、能美市の魅力を発掘、発信することによって、移住定住の促進を進める、企業誘致、地場産業の振興を図る、ふるさと愛の醸成に努めるということでありまして。

まず、移住定住の促進ということで、今、子供が生まれる数が減っています。私自身も3人兄弟、私の母親は4人兄弟。ところが、今、女性お一人が生む子供の数は二人未満です。男性と女性が結婚をして子供が生まれるのが二人以上だと人口がふえますが、二人未満なので人口がなかなかふえていかない。そうすると、移住定住を促進するしかないわけです。和佐谷に住んで、ずっと住んでもらえるようにしなくてならないですし、能美市にほかの市町から移住をしてもらわなくてはならないということです。

それから、移住定住を促進するためには働き口がないと来てくれませんから、企業誘致地場産業の振興を図りましょうということです。

それから、ふるさと愛の醸成というのは、この能美市に住む子供たちに早くから市の魅力をわかってもらうということです。例えば、東京の大学に行って、東京の企業に就職しようかなと迷っている子供たちに、能美市に戻ってきたらどうか、例えば、高校生まで医療費が無料であり、電気代は全国一安い、帰ってくるとおじちゃん、おばちゃんの手が待っているということを言うことです。子供たちにU Iターンを促し、このふるさとに戻ってきてもらおうというようなことを一生懸命やっているということです。

今、ポスターをつくりました。能美市と書いてありますが、東京に行くと、「のうみし」と呼ばれます。能美市というのは住みよさランキングで全国上位なのですが、魅力度だとか認知度だとかということになりますと、全国で400番台だったり、600番台だったりしてあまり有名ではありません。それで、能美市のことをもっと全国の人に知ってもらいたいと思ってこんなポスターをつくりました。子供たちの笑顔が出ています。これは、能美市の観光特使と、有名なカメラマンがいるのですが、その人たちに「能美市の魅力って何？」

って聞くと、それは子供たちの笑顔とのことでした。その住みやすさや子育てのしやすさを象徴するのは子供たちの笑顔だということで、辰口中央小学校の子供たちの写真を大きなポスターにして東京駅や大阪駅や京都駅、金沢駅、高速道路のサービスエリアに張っています。そして、ビデオもつくりました。これ7本つくりまして、ホームページにアクセスすると見ることができます。また、ポスターにQRコードがついていまして、携帯電話をかざすと能美市のホームページにアクセスできます。このポスターやビデオのおかげで、今、能美市のホームページへのアクセス数がぐんと伸びています。それだけ、いろんなところでこのポスターやビデオが活躍しているということです。

先日、ポスターやビデオに出ている子供たちのところに会いに行ったのですが、とっても元気でして、小学校に入るなり、みんな「こんにちは」「こんにちは」と本当にすばらしい挨拶をしてくれました。みんな、ポスターやビデオに出て何か人生変わりましたかと聞くと何もないと言っていました。今後、大きくなったときに、もしかして、どこかの映画会社から依頼があるかもしれないよと、そんな話もしていました。

能美市の魅力というのはいっぱいあるのだろうと思います。

私が考えている魅力に、例えば、子育て環境がいい、自然景観がすばらしい、自然災害が少ない、それから、コンパクトで町会・町内会の組織がしっかりしている。和佐谷地域でも本当に皆さんが結集していろんなことに取り組んでいらっしゃるだろうと思いますし、町会長さんには市側からもいろんなお願いをしています。町会長さんがいらっしゃるおかげで能美市の市政が運営できているのだろうなと思って日ごろから感謝させていたでています。

それから、ものづくりの町であったり、先端大や寺井高校があったり、それから、各種ランキングが上位だったりとかくさんの魅力があるということをいろんなところで宣伝しています。

ただ、課題もあります。例えば、財政状況が厳しい。実際に、社会福祉費の比率が年々高まっている。アセットマネジメントというのは、老朽化した設備を直していくということです。例えば、水道管も直さなければならない。そのほかの能美市のいろんな施設も直さなければならないということが能美市の課題であります。

それから、一番このタウンミーティングでご質問いただいている、高齢者の足の確保について、公共交通機関をもう少し充実させてくれないかというお話です。

それから、能美市の人口が減っていきますと、やはり、一つの市で行政サービスを行っ

ていけないこととなります。そうしますと、近隣の白山市や川北町や小松市としっかりと広域連携を結んだり、強化したりして、住民サービスの質を高めていきたいと思っています。

能美市の魅力を発掘、発信することをシティプロモーションと言っています。市役所に入ると、正面に大きなフロアがあるのですが、そこをもっと活用したいということで、今ここに能美市の特産品や能美市内にある会社でつくっている製品を並べていきたいと思っています。そして、例えば、書道や絵の作品もここに並べて、できるだけ市役所に市民の方に来ていただき、能美市の魅力に触れていただければなとそんなことも考えています。

以上、いろんな話をさせていただきましたが、今から皆様方からいただきましたいろんなご意見やご提言に対して一つずつ意見交換をさせていただければなと思います。

【司会】

それでは、タウンミーティングを進めてまいりたいと思います。テーマは町会長様にも通知でご案内しましたとおり、「井出市長と語ろう 10年後の未来」です。事前に皆様の中からこんなこと聞きたい、こんな意見を持っていますということをお出しいただいていますので、今から私からテーマを順番に申し上げますので、そのテーマに基づいて皆様からお話をいただければと思います。そして、そのご意見をいただいた後、井出市長からそのご意見、ご提案に対してお答えをお返ししていきたいと思っています。

①高齢者福祉の充実について

【司会】

それでは、まず初めに、高齢者福祉の充実について、ご発言いただけますでしょうか。

【和佐谷町民】

和佐谷地区の福祉推進員をさせていただいています。和佐谷町は能美市でも高齢化率の高い町なので、高齢者福祉の充実について意見が聞きたいです。

【井出市長】

高齢化福祉といっても大変範囲が広く、どんなことをお答えすればいいのかなということを考えていました。例えば、和佐谷に住んでいる高齢者の皆さんが集う場所がもっとあってもいいのかなと思います。実際に調べましたら、この公民館を利用して皆さんが集まる機会というのはそんなに多くないということがわかりました。ほかの地域であれば、そ

ういったお世話をする方がいらっしゃって、高齢者の皆さんと接する、そんな機会を設けているようであります。和佐谷のほうでは、いろんなご事情があるのだと思いますので、例えば、ほかの町ではのみ活倶楽部というのをやっています。もし、皆様方からご希望があれば、市の職員を派遣させて、月に1回、そういうのみ活倶楽部というのをさせていただければと思います。改めて担当課にご相談いただければと思います。

また、いきいきサロンというのもあり、これもほかの町ではやっているのですが、こちらではされていないという話を聞きました。それで、もしのみ活倶楽部のほかにそのいきいきサロンもされたいということであれば、ご相談をいただければなと思います。

それから、もし何かお困りで、どこか相談をするところがないかということであれば、能美市では高齢者支援センターというところが24時間電話対応していますので、そちらのほうにお電話をいただければ、お困りのことがあったらお答えする体制をとっていますので、ぜひご利用してみてください。

【和佐谷町民】

私も、福祉推進員を若いときですけども、十数年前にしており、民生委員も6年間させていただいてそういうことはわかっています。和佐谷町はいきいきサロンとか、それまでしていたのですが、私が委員を全部やめたときからそういうこともなくなりました。私は後期高齢者に入りましたが、どのようにこの人たちにそれを伝えていったらいいかなということを私自身が悩んでいるような状態です。また、市の職員の人たちにご相談して、町に住んでいらっしゃるそういう人たちにも協力いただいて、そういうものが少しでもできたらいいと思っています。

②公共交通の充実

【司会】

次のテーマは公共交通の充実です。どなたか代表でご発言いただけますでしょうか。

【和佐谷町民】

まず、和佐谷町から能美市市役所、福社会館へ行くバスが余りないので、とても不便に感じています。

2番目。高齢者が多い地域です。検診においても交通の便に不自由を感じております。

【市長】

タウンミーティングはこれで6回目になりますが、一番多い意見は公共交通の改善を求

められるものです。のみバスのことだと思います。実は、市のほうも全く努力してこなかったわけではありません。今までにも何回か市民の皆様にアンケートとったり、それから、実際にバスに乗ってどんな方が利用されているのか調べたり、そして、利用されている方に直接お話を聞いたりして、今のダイヤとルートを整備しました。ただ、いまだにこんなお声をいただいているということであり、これは本当に何とかしなければならないという思いです。

今の、和佐谷町ののみバスの実態を調べました。今、連携バスが2往復通っています。例えば、和佐谷から朝9時37分に出るバスに乗ると、市役所には10時2分、それから、辰口福祉会館には10時4分に着きます。その2時間後に帰りのバスが出ますので、例えば、市役所にお越しいただいて、用事を済ませて、その後、お買い物も行って帰ってこられます。それから、福祉会館に行けば、温泉でちょっとくつろいで約2時間あれば帰ってこられるのではないかと思います。芳珠記念病院の時間も調べたら、（滞在できる時間が）約2時間ありますので、検診や処置を受けられても十分間に合う設定に今はなっています。ただ、それ以上の個別のことになりますと、これは和佐谷地域に限ったことではなくて、能美市全体からそんなお声をいただいているので、今後、のみバスの活用や、また、ほかの町では地域の方が車を出して、その地域の方をお買い物や病院に連れていったりするサービスをとっている町があります。例えば、そんなようなことをこの地域でもやれないかなど考えていって、この公共交通の整備に引き続き取り組んでいきたいなと思っています。

③地域医療の推進

【司会】

次のテーマは、地域医療の推進です。代表でご発言をお願いいたします。

【和佐谷町民】

和佐谷地区の健診率が低いと言われたことがあります。私も能美市の健診を受けたいのですが、和佐谷から能美市の健診場所は遠いので、高齢になればなおさら車の運転にも自信がなくなります。具合が悪いときは、いつも鶴来町の病院で診てもらっています。健診も和佐谷・鶴来で受診できれば本当にありがたいのですが、どうか、ご一考くだされば幸いです。

実は、私も1回、問い合わせしましたが、いろんな規定があり、5人以上いないといけないといわれました。お願いいたします。

【井出市長】

鶴来の病院で健診できた時期もあったようです。ただ、その後、鶴来の病院での健診を利用される方がいなくなったという経緯もあって、ほとんど（健診場所が）能美市内の医療機関ということになりました。それから、保険の仕組みで加入の保険者が特定健診を行わなくてはならないという、国の制度があるものですから、なかなかそこをかいくぐることができないということです。もうちょっと掘り下げて話をしていきますと、保険には国民健康保険と社会保険の2種類があります。社会保険の方は会社等で受けられるのですが、国民健康保険の方は能美市内の集団健診会場もしくは医療機関で受けることになります。加えて、特に高齢者の方だけの話をさせていただくと、75歳以上の後期高齢者の方になりますと、市内の医療機関で受けることになります。

④消防防災体制の強化

【司会】

次のテーマは消防防災体制の強化についてです。よろしくお願いいたします。

【和佐谷町民】

まず、万が一火災が起きた場合、消防団の出動があっても、今の用水の水量では到底、消火は無理だと思います。消水路の水量増と用水路の水の箇所延長が不可欠だと思います。冬の除雪にも関係することだと思っています。

2番目に、神社の前をよく通り、お墓のところを散歩するお年寄りの方がいらっしゃいます。そこにはきれいな谷川の水が流れていまして、その谷川の水が村中の小さな川に流れるようになったらいいなというふうに思っている方がいらっしゃいます。

3番目に、市内の水路は水量も少なく、防災上、大変不安に思っています。谷川の大量の水を地内に流れるように検討してくださるよう切望いたします。

4番、町内の水源の確保をお願いいたします。5番、水問題。6番、水資源のあり方についてお願いいたします。

【井出市長】

多方面にわたる水に関するご質問でした。最後のほうの水問題の解消、水資源のあり方というところになると、私のほうで、こんなご質問なのかなという思いの中でお答えをさせていただきたいと思います。

まず、消防といいましょうか、防火に関するご質問ですが、この和佐谷町の町内には消

火栓が6基、そして、防火水槽が3基あると把握しています。調べましたところ、その水量および配置については、全て決められた基準に達しておりまして、万が一火事が起こっても、その消火栓と防火水槽があれば対応できるということを把握しております。

そして、谷の水をこの町内のほうに持ってきたらどうだということですが、恐らくこれも町内に埋設されている管を利用して持ってくるということになるのだろうと思います。これも、ご質問いただいた後も、改めてこちらの町内に入って調べましたが、埋設されているものですから、どんな状況なのかということがなかなか把握しづらいということ、本当にその管が大丈夫なのかどうなのか、それから、補修、改修ができないのかどうか、かなり多額の費用がかかるものですから、国や県に働きかけまして何かできないかということを今後考えていきたいと思っています。

それから、水をもっと何か利用できないかというお話です。この和佐谷町内の上水道というのは、このわき水を水源として、それで町内で利用しているということですが、これも以前調査をしたときには十分に上水道の量をまかなえるだけの水を今後も取水できるということを確認しています。それから、水質も微生物等が混入しないように、ろ過装置を浄水処理として導入をしており、こちらのほうも定期的に管理をしておりますので、問題なく上水道も引き続き利用していただけます。

【和佐谷町民】

今、市長から消防について基準どおりであるというお話があったと思います。1年365日、いつそういう事態があるかわかりませんが、科学的データというのはあるのですか。水量の基準どおりとおっしゃいますが、見た目、ここに書かれてあるように、住民は不安に思っています。

【井出市長】 科学というか、根拠となるデータがございますので、それは改めてご紹介させていただきます。

【和佐谷町民】

それは、春夏秋冬、水の多いとき、少ないときもありますけれども、それも全てクリアしているということですか。

【井出市長】

はい、そういうふうに把握しております。また改めて詳細をご報告させていただきます。

⑤人や自転車にやさしい道路の整備

【司会】

次のテーマは人や自転車にやさしい道路の整備になります。お願いいたします。

【和佐谷町民】

1、和佐谷橋老朽化対策。小学校の通学路になっております。2、学校通学について、橋の老朽化のために懸念しております。2つとも、和佐谷橋の件についてです。よろしく申し上げます。

【井出市長】

先日、（和佐谷橋）に行ってきました。確かに、見た目は老朽化しているように見えますが、しっかり調査しなければならないと思い、10月末までに専門のところで調べてもらうように手配をしました。現在危ないかということ、我々が目視した状況では大丈夫じゃないかなという思いであります。

今後も職員による定期パトロールをしたり、それから傷んでいる箇所を修繕したりしながら皆様方に安心安全に渡っていただきたいと思っています。

【和佐谷町民】

小学生の子供を持つ父親です。毎朝あの橋を渡って息子が学校に向かっていきます。やっぱり、父親とすれば、あの橋大丈夫なのかなと特に、豪雨の後は心配になります。毎朝、あそこの橋の袂まで付き添っていくようにしています。散歩される方がおられまして、お年寄りの方やいろんな方がいらっしゃいます。中途半端に補修をしてありますけれども、それですみずくから何とかならないかという話も出ています。休みの日なんか、自転車、サイクリングで渡られる方も結構いらっしゃいます。写真を撮っていて、この橋はすごくいいものだというお話もされています。能美市の橋なので、ぜひ大事にしていきたいと思えます。

何かあってからでは遅く、通学路としてもすごく大事なので、危ないから通行止めにしてしまうということは、すごくつらいことになってしまいます。子供が毎日通っております。ぜひお願いいたします。

【井出市長】

お父さんのお気持ちもよくわかります。本当に抜本的にあの橋を何とかしなければならぬということになると、これは本当に大規模な工事が必要になります。ですから、先ほど申し上げたように、本当に安心安全かということは、専門の業者を使って調査をします。

ただ、つまづかないかどうかということになりますと、確かに、私も半分渡りましたが、ちょっとそんなような箇所があります。それは引き続き直していきます。ぜひ注意して渡っていただくということをお願いするしかないもので、ご理解、ご協力をいただければと思います。

【和佐谷町民】

ぜひ、善処をお願いいたします。

⑥市民目線による行政運営

【司会】

次のテーマは市民目線による行政運営です。この件について、お願いいたします。

【和佐谷町民】

必要のない夜間、平日の任命式、住民委員などの職員夜間残業代の無駄遣いをやめる。3町が一つになったので、職員の数を減らせるはずです。たくさん遊んでいるように見えるのに対応が遅い、横柄というお話が和佐谷町住民の中から出ているようです。

【井出市長】

大変貴重なご指摘をいただきました。ありがとうございます。まず、確かに夜に任命式等をやることがあります。ただ、以前と比べて数は減らしてきています。その一方で、昼間働いていらっしゃる方が多いものですから、仕事に支障をきたさないように任命式をするためには夜しかやれないというのが実態であります。ただ、その任命式だけに来ていただくのはやっぱり申しわけないので、あの任命式をするときには、勉強会や講演会、研修など、満足していただけるようにいろんなことを合わせて開催しているということです。

それから、横柄というお言葉がございました。もし、そういったご意見があるのであれば、早急に改善をしていかななくてはならないと思っています。今、能美市では、日本一笑顔が似合う窓口というようなキャッチフレーズをつけまして、今度そういった接遇のプロの方に来ていただいて、勉強会をする予定にしています。

そして、合併した以後職員が減ったのか、遊んでいるように見えるということご指摘ですが、もし、遊んでいるように見えるのであれば、それもきちんと改善をしていきたいと思っています。人が減ってきたのかということについて、これは、合併以後、適正な人員配置をしたり、ITを駆使したりしまして合併時の平成17年と比べて現在は、50人減らしています。では、今の人員が多いのかといいますと、本当に市の職員は、目いっぱい仕事

をしていただいております。市民の皆様にご理解いただけるよう、そして、能美市の職員頑張っているなど、そう思ってもらえるように引き続き職員と一丸となって取り組んでいきたいと思っています。

⑦ごみ処理と環境美化について

【司会】

次のテーマはごみ処理と環境美化についてです。お願いいたします。

【和佐谷町民】

段ボールの回収がされていないようですが、段ボールの回収もしてほしいということです。

【井出市長】

段ボールは能美市全体でも回収をしていません。皆さんにリサイクルセンターに持ってきていただくようお願いをしているところであります。

和佐谷から辰口のリサイクルセンターまでどれだけ距離があるかと思って調べましたら、7キロあり、やっぱりちょっと遠いですね。

それと、鶴来中学校が年に3回、資源回収をされているということを聞いています。鶴来中学校に通っているお子さんがいらっしゃるので和佐谷町も対象になっています。それから、ある程度量がまとまれば、民間業者に言えば取りに来てもらえるということも聞いております。もし、どこに問い合わせしていいのかわからないということであれば、市の担当課にお問い合わせいただければと思います。

⑧その他

【司会】

次はその他に移りまして、残りのご意見、ご提案ございましたら、ご発言いただければと思っています。

【和佐谷町民】

和佐谷町の民生委員をしています。実は、去年から民生委員を引き受けていますが、一番心に残るのは、冒頭にありました高齢化率です。和佐谷町は能美市の中でも一、二を争うのではないかと。80歳の方でも若い方と一緒にいるところは、いいのですが、自分が思うに、ここ10年ぐらいたつと一番懸念しているのは、ひとり暮らし、もしくは2人暮らしで

も80歳以上の方が随分とこの町ふえてくると思います。自分も今69で、来年には70になりますが、今、全国的に問題になっている高齢者が高齢者をお世話している。民生委員になって思うのはここ10年ぐらいでどうなるのかということです。よく町のほうで、私もいろんな会議に残らず出席するようにしています。一番懸念されるのは、家で倒れたということが、あってはいけないことですが、若い家族と一緒におられるところはいいいのですが、それが今後、特に和佐谷の場合、能美市の福祉課から離れたところにあります。自分も月に2回ほど、見るようにしていますが、実際どんどん高齢化が進んでいっています。能美市全体の問題になるとは思いますが、今後どのように対応していくのかなど、いろんな会議に出ていて痛切に思います。

私もちらっと聞いたりして、例えば、全国的にあるシェアハウスのところで老人の方を見るとき、老人でも元気なうちはいいのですが、認知症が進むと。問題なのは、ある程度年とお金を持っている人は老人ホームに行けばいいと思いますが、全部が全部そういう対象にはならないと思います。ケアも受けられないまま、極端に言えば一人寂しく家で亡くなる方が、あってはいけないことですが、ふえていく懸念があります。不安な面が多々あります。

【井出市長】

今もお話をされていたときに、触れていたとおりでありまして、まさに和佐谷に限ったことだけじゃなくて、能美市、もっと言えば日本全体、同じような問題だと思います。

私は能美市寺井町というところに住んでいまして、寺井町というのは確かに人口が多いのですが、旧の市街地になると、やはり、ひとり暮らし、2人暮らしの方が多いというのが実態です。どこに行っても同じような話をさせていただくのですが、やはり、健康でいつまでもいていただけるように、先ほどお話があったいきいきサロンとか、のみ活倶楽部に積極的に参加していただいて、そして地域のコミュニケーションを引き続きとっていただく。そして、町内の皆さん方とできるだけいろんな形での行事にも参加し、若い方との交流もふやして、地域全体で助け合って生きていていただくということを、我々とするようお願いもしたいし、そんなことになっていただけるように支援をしていきたいと思っています。

【和佐谷町民】

和佐谷でもし火災になった場合、市役所の前から消防車が来るとは思いますが、白山市の鶴来消防署からであれば2キロ近くです。その辺、白山市と能美市のいろんな関係があり、

やっぱり助けがいます。 (鶴来のほうが) 近場でございます。火災のことです。よろしくお願いします。

もう一つ。きょう、市長さんが和佐谷に入ってくる時、手取川に大きな面積 (の土地) があります。面積が3万4,000平米あって、戦前戦後を通じまして、和佐谷の集落が管理をしています。それにつきましては、前の山上村、内務省、国土交通省、一部の地権者が (関係している) ということで、これまでの10年ほどの間にいろんな話題も出ていました。何とか集落のほうに収益が上がらないかということで大分検討しました。ただ、不在地主が、持つ面積が3万4,000平米のうち3,000坪ほどあります。昔の明治時代のときからでございますので、不在地主の全部のはんこをもらってくるとなると、七、八十人の承諾が必要となり、それはなかなか得られません。河川敷というのは昔からきつい規制があるということも聞いています。三、四年前にある金沢の業者さんのほうから今はやっている太陽光発電の話があり、うまいこといけば集落のほうへ200万近く入るということだったのですが、やっぱり下の土地を持っている地主さんの問題があつて。私はずっと草刈りをするなど年間20万近くの経費を出しています。もし、いいところがあれば、ひとつまたご紹介していただければ大変結構だと思っております。

【井出市長】

まず、冒頭消防の話がありました。今のところ、市役所の前に新しく分署ができたのですが、そこから和佐谷までの距離と実際の車のスピードから計算すると、約10分でこちらに到着すると想定しています。できるだけ早くということですが、10分で到着してしっかりと消火活動にあたるということで対応させていただきたいと思っています。白山市との連携については、今、能美市と白山市のほうで協定を結べないかということを検討し始めているところであり、何とか白山市の近隣の消防署のほうから応援に来てもらえるように引き続き白山市さんとの話し合いを進めていきたいと思っています。

そして、広大な土地を何とかということでもあります。おっしゃったような、太陽光の発電や、スキーに行くお客さんを取り入れるようなリゾート地、企業誘致などというお話なのでしょう。そのようなことを引き続き心にとめながら、こちらのほうで何かできないかという思いを抱くようにしていきたいと思っています。

【和佐谷町民】

私らのところは、中山間地域に入っており、いろんな集落主体の仕事や先ほどの水の問題、林道の森林組合関係などのことについて、修理について地元負担、役所が出す (補助

の) 上限は決まっているのですか。そして、地元(負担)は20%とは聞いているのですが、ある事業に対して地元負担は20%というのは、これでいいのですか。

【井出市長】

例えば、街灯をつけるなどの話ですか。

【和佐谷町民】

いや、言うなれば、これまで農業用水や道路の崩れたところが何カ所か(修理を)やりまして、地元負担というのは、工事費に対してこれまで20%でした。この20%(という負担は)は中山間地域でも今のところ変わらないのですか。

【井出市長】

これは、いろんなパターンがあるので、事例やどんな目的に使うかということで、それぞれ上限が決まっていたり、その比率が変わったりします。今一概に言えないので、もし街灯とか、個別案件でこういうことをお聞きになりたいということであれば、多岐にわたるものですから、また改めて(担当課に)聞いていただければ、お答えさせていただくようにします。

【和佐谷町民】

森林資源の活用、道の駅、白山さんとの連携についての提案、意見の中が上がっているもので、そのことについて、お答え願えますでしょうか。

【井出市長】

森林資源の活用というワンフレーズで言われると、何を言えばいいのかなという思いはありますが、例えば、加賀の木材を使って家を建てた場合には助成をしますという制度があります。それから、今、先端大の先生と一緒に能美市の炭を使って鉛筆をつくったり、あとは電気を起こすのに木のチップを燃やしてやっている事業があったり、廃材や間伐材を利用して遊具をつくったりということをしています。あとは、例えば、最近能美市でつくっている保育園や児童館はできるだけ木材を使うようにして木のぬくもりを感じてもらえるような、建物をふやしているということあります。

【和佐谷町民】

これは、私の周りの友達か、和佐谷町の方からよく意見を聞きます。市長さんもお存じのとおり、能美市の中でも和佐谷は森林の面積が一番大きいらしいです。それと、先ほどいいました広場ですね。和佐谷の広いところと谷川の水を使って何か能美市自体が事業と

どうか、何かを起こせばおもしろいのではないかという意見を、私の友達でそのようなことに携わっている人から聞いており、それもそうかなと思います。だから今後、先ほども出た広い敷地と森林を活用した何かを考えていただければと思います。和佐谷自体、この状態でいきますと、先ほど申しましたように高齢化率がどんどん進んで、正直なところ、若者、自分の子供自体がこのようなところにもういるのは嫌だということが出て行くような現状です。だから、事業や何かをすれば、よくほかの町でもありますが、若者が定着するのではないかと思います。ここは道路網もいいので、そういうところを何か市長さん、今後考えていただければ、高齢化も解消されるのではないかと思います。このままだと、本当にこの町、極論をいうと何年かのうちには私らの町自身がなくなるような懸念を私自身が感じます。

【井出市長】

皆さんのご期待にお応えできるような、なかなか満塁ホームランは打てませんが、例えば、仏大寺に今度新しくイタリアンレストランができます。それから、坪野に中国茶のお店ができます。それから、いしかわ動物園周辺にイタリアンレストランがあったりおいしいハム屋さんがあったりします。これはワーク・イン・レジデンスといった事業を活用しております。実例があるのでぜひ、皆さんもそういったことを発信していただきたいなと思います。仏大寺では、町民皆さんが一丸となって何とかしなければならないといって、家の前の表札なんかを同じようなものに整えられたり、年に1回ほっこりまつりというイベントをされたりして、たくさん市外からのお客様もいらっしゃっています。ぜひ、和佐谷がこんなところやということ悲観されずに、皆さん一緒になって力を合わせていろんな考えを巡らせていただければなと思います。

それと、サクラマスというのがこの和佐谷で見られるという話を聞き、今度10月に応用生態学会が環境の調査に入ります。まだまだいろんな魅力があるのだらうと思います。ですから、我々が知らないような魅力もあると思いますので、またそんなことを教えていただければ、例えば、ホームページや「広報能美」など発信をさせていただきたいと思いますので、ぜひ、いろんな事例を見ていただいて、前向きに考えていただければなとこちらからもお願いを申し上げます。

【和佐谷町民】

私自身はもう70近くですが、これを機に和佐谷町のここにいる数少ないとはいえ、40代、50代の人に、自分は関係ないという意識ではなく、市長さんがいうような意識を植えても

raitai to omoimasu. 能美市のほうから、先端大やそういう方が、40代とか50代の方にこういう方法があるということをごんごん提案してもらえば、これは自分が何もしてこなかったから言うのかもしれないですが、ここで意識を変えないと、意識を変えるために市のほうからこういうことがあるよということで、また提案いただければと思います。

【井出市長】

わかりました。それから、白山さんのこともお尋ねになりましたね。

【和佐谷町民】

これは、避難場所が道の駅しらやまさんになっているのですが、職員さんは知らないのです。

ちょっと連携が足りないのだと思います。もし、万が一災害があったときに、私ら鍵もありませんし、中に入れませんし、避難できないです。

【和佐谷町民】

担当課には一応ご連絡し、向こうにちゃんと連絡しますという回答は得ていますが、そういうことです。

【井出市長】

わかりました。きちんと調べておきます。

【和佐谷町民】

あと、市長はご存じですか。ここのケーブルテレビは小松テレビではなくあさがおテレビなのはご存じですか。

【井出市長】

はい、聞きました。

【和佐谷町民】

そういうところで、地域的には白山市との結びつきが大変強い地域であることもまた事実ということで、道の駅しらやまさんは和佐谷地内にあるのですが、行くとほとんど白山市しか見えてこないのです、今の避難場所の件についても間違いなく和佐谷地内にある道の駅しらやまさんですから、そういうところでの認識のをひとつよろしく願いいたします。

【井出市長】

それはきちんと調べておきます。

【和佐谷町民】

その他ということで、「10年後の未来」タウンミーティングということですが、僕自身が11年前にこの地に移ってきています。この地に来たのは、たまたま古民家があって、それを改修して住んでいます。その当時は夫婦2人で来ました。そのうち、息子が生まれました。子育てするには適切な場所だと思ってこの地に変わってきました。住めばそれなりに苦勞もありますけれども、いい場所だと思っています。僕は建築関係の仕事をしていて、能美市は住みやすい町だということで移住の問い合わせも多々受けます。ことしも、60歳の方ですけれども、横浜から移住されました。ただ、やっぱり年配の方、45歳以上になると補助金の対象から外れてしまうということで、ちゅうちょされる方もいらっしゃいます。そういう40歳を超えて移住される方は、企業、特に大企業に勤めていて、工場閉鎖などで転勤しなければならない、そのことで住み方、人生を考え直す中で住みやすい町、また職業も、企業というよりも就農したい、カフェをしたいとか小さな事業をしたいなど、そういうふうに考えています。あとは工芸に携わりたいという方が多いです。だけど、やっぱり、その辺の空き家なんかの情報が少なく、すごくその情報が欲しいということで僕のほうに問い合わせがあったりとかします。企業の誘致も大事なのですが、自然、先ほどマス話もありましたが、秋になったらその川にサケが上がってきます。サケが上がってくるのがその橋から見えます。その姿を見にたくさんの方が訪れます。そういう自然、などを、企業に頼らず、そういうものをもっと大切にしていだければ、いろんな方の移住に関して、特に和佐谷もそうですが、たくさん空き家があります。そういうところにもたくさんの方に入っていだけるのではないかと僕は思っております。

【和佐谷町民】

私も静かな環境大賛成です。今、根上に勤めていますが、毎日F15の爆音を聞いております。そのことを思えば、ここは天国だと思います。

【井出市長】

すばらしいご提案、ありがとうございます。決して企業誘致ばかりやっているわけではなく、自然景観も大切にしているつもりです。それから、移住定住を促進させるために今からそんな魅力を発信しなければならないと思いますし、今、そんな需用もあるのだなどということで、来ていただけるような政策も考えていきたいなと思います。

それから、空き家を、実際に我々も空き家対策でいろんなことをやっているのですが、実は空き家バンクの登録数がまだまだ少ないのが実態です。そこを何とかしたいという思

いがありまして、ことしは勉強会をやったり、もう少し実態を聞いたりすることにも取り組んでみたいなと思っています。また、いろいろ教えてください。逆に言いますと、11年前にこちらに引っ越しをされたという方ということで、意見を聞いてみたいなと思っています。まさに、そういった方が能美市の魅力を発信していただける方なのだろうと思いますので、またぜひご協力してください。お願いいたします。

【司会】

もし、これ以上ないようでしたら、閉めさせていただきますが、よろしいでしょうか。

では、市長のほうからきょうのご感想を述べていただきたいと思います。

【井出市長】

きょうは、大変日中のお疲れのところを大勢の皆様にお集まりをいただきまして、ありがとうございました。

逆に、きょうは私、皆さんからいろんな元気をいただいたのではないかと思います。和佐谷というのは、今、人口83人と聞いております。高齢化率が高い、高いとおっしゃっていますが、和佐谷以上に高齢化率が高いところが能美市にはまだ5つございます。そんな中、ほかから移住をされてきた方がいます。そして、これだけ町のことを真剣に思っている方が多い町だということを改めて認識させていただきました。

我々能美市は、そういった町を応援していきたいと思っており、具体的に言えば、「広報能美」に各町会町内会長に出いただき、この町の魅力を発信してもらおう、そんな企画をしています。ただ、これが「あいうえお順」でございまして、能美市内には74の町会・町内会があるものですから、ご当地は「わ」でございまして、「わ」となりますと七十何番になるのか、毎月3つずつの町内を紹介しておりますと、3年後ぐらいになってしまいますが、間違いなくその順番が回ってまいりますので、そのときには、町民挙げて「広報能美」に登場していただいて、和佐谷の魅力を発信していただければと思います。

そして、このタウンミーティングはことし限りではございません。来年も再来年もやるつもりでございます。そして、この町会・町内会対象だけでなく、あるテーマを持ってやっていきたいという思いもあります。もし、皆さんのお仕事や普段参加されているボランティア、文化活動で合致するものがあれば、そちらにご参加をいただければなと思いますし、また和佐谷でこんな祭りがある、こんな寄り合いがあるということのご案内をいただければ、また膝を交えていろんな話もさせていただければと思います。

本日はどうもありがとうございました。

【司会】

それでは、最後に町会長様からご挨拶いただきしたいと思います。

【和佐谷町会長】

本日はありがとうございました。初めて私も町会長になったのですが、4月に要望書を出しまして、いろいろ市のほうにお願いに上がっているわけですが、今回、明快な回答をいただけるかなと思って楽しみにしていました。しかし、なかなか厳しい回答だったので、またお願いに上がりますので、またひとつよろしく願いいたします。

やはり、和佐谷はどうしても水の問題、防火水になって、農水も関係するものです。水というのは大きな問題なので何とか解決していただきたいと思っております。

和佐谷というのは、3世代前は宮竹小学校に行っていたらしいですが、私らははっきり言ってもう鶴来です。誠に申しわけないですが、能美市民という感覚がありません。やっぱり、小学校、中学校は向こうに行っておりますので、能美市とのコミュニケーションが不足しております。先ほど言いましたあさがおテレビなので、はっきり言って能美市の議会は何も放送されません。お願いしに行ったときには、何か施設がついていないからだめと言われました。和佐谷はケーブルができないのであさがおに行ってくださいということだったらしいです。そういう経緯があるものですから、議会は白山市しか流れません。全然情報が流れてこないというのが現状でございます。何とかひとつ、お願いいたします。

さっき言いました橋の問題ですが、気をつけて渡ってくれと言いますが、万が一事故が起きたときに、何千万、何億という補償金がかかると思います。その前に修繕していただければありがたいと思っておりますので、人命を優先にお願いいたします。

今回、タウンミーティングは和佐谷単独ということで開催していただきまして、本当にありがとうございます。ちょっと皮肉っぽく言いますが、和佐谷地区はどこの校下にも属していないので、宮竹校下にも属していないので、今回単独になりました。市長のご厚意で、本当にありがとうございました。

市の職員さん、本当にありがとうございました。きょうは、お疲れさまです。

【司会】 ありがとうございました。では、きょうの和佐谷町の皆様とのタウンミーティングを閉じさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。